

室内化学物質濃度実態調査 国交省 (1 / 2)



国土交通省は7月28日、平成15年度室内空気中の化学物質濃度の実態調査結果をまとめ公表しました。この調査は平成12年度から実施されており、新築住宅調査では濃度指針を超える住宅が比較的多かったホルムアルデヒド、トルエンについては、年々減少しています。

表1 実態調査結果(新築住宅 新築1年以内)

	平成15年度調査		平成12年度調査	
	平均濃度	超過住宅の割合	平均濃度	超過住宅の割合
ホルムアルデヒド 指針値 = 0.08ppm	0.040ppm	84件/1491件 5.6%	0.073ppm	28.7%
トルエン 指針値 = 0.07ppm	0.017ppm	33件/1491件 2.2%	0.041ppm	13.6%
キシレン 指針値 = 0.20ppm	0.017ppm	2件/1491件 0.1%		
エチルベンゼン 指針値 = 0.88ppm	0.004ppm	なし		
スチレン 指針値 = 0.05ppm	0.000ppm	1件		
アセトアルデヒド 指針値 = 0.03ppm	0.015ppm	141件/1491件 9.5%		

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

